

課題

八戸の高校生の塩分
運動不足を改善するにはどうしたらよいか
八戸の企業の高齢化
オオハンゴンソウの効果的な枯らし方(除草剤、日干し、切断etc)
三社大祭人手不足(山車制作)
児童福祉施設は、どのような地域交流をもたらすのか。
睡眠時間と平均寿命
道路に用いられている塩分の調査
エアコンによる消費電力の変化。
森林の不法投棄はどうすればなくなるか
オオハンゴウソウについて
青森県の風力発電一位を用いた自家発電による節約
放射線治療の副作用に効く料理は何なのか
子ども食堂はどのようにして地域間の交流を深めることができるのか？
スポーツ時におけるイップス症状はなぜ発症し、どうすれば改善するか
なぜ青森県では大腸がんが多いのか
ニュースなど使われる言葉は40～50代に、SNSでよく利用される言葉（若者ことば）は中高生を中心に若い世代に影響を与える。
男は直感的で、女は複雑に考えてから言動する。発達する部位が違う。。
訪問看護の人手が足りない理由について
青森県での献血をする人が少ないのはなぜか
ドクターカーはなぜ八戸だけで導入されているのか
なぜ青森の出生率は低いのか
病院食の課題を解決するために病院側にできることは何か。
久慈市の小児科が減少傾向にある理由
農業の効率を上げるには
動物病院で働く獣医が増加する一方で、公務員として働く獣医が不足している理由
産婦人科医療従事者不足について
リモートワークは日本の多くの職業に向いてない。費用や時間をかけてまでやるメリットがない。
産婦人科のない地域で適切な医療を受けやすくするにはどうすれば良いのか
医療的ケア児の受け入れ状況の現状
心理カウンセラーの存在が浸透しない事。
どうしたら有機肥料を用いて化学肥料以上の収量を得られるのか
青森県の塩分摂取率について
自衛官のメンタルケアを充実させるためにはどうすれば良いか
医療従事者減少の問題を、医療従事者との質疑応答をもとにして、その職に興味を持てるようなポスターやスライドを掲示・発表すれば解決できると思った 地域枠を利用したり、身近なところに志望動機を発見したりすれば、医師志望者ないし医師の増加につながるのではないか。
八戸市の高齢者介護

3大疾病罹患率が高い、自殺率が高い⇒短命県につながっているという事

脳卒中予防と食事

青森の町おこしを活発化し、持続するにはどうすればよいだろうか。

青森県民の肥満解消

ストレスチェックでストレスに適切に対処することはできるのか

空き家を減らし地域を活性化させる

公共交通機関、利用者と運行数の減少について

学校の統廃合による減少について

時間とお金と様々な考え方があるので早急に対応することができない

青森の魅力を発信して人口減少を止める

青森県農家が減少していることについて

小中学校での普通学級における障害を持っている生徒への教育について

ICカードについて

中心街(八戸)の商業的復活・商業推進

食生活の改善で青森県の健康寿命を伸ばすことはできるのか。

八戸市の魅力をもっと多くの人の目に留まるような発信をすれば、観光客が増えて地域活性化につながるのではないか。

少子化

青森県内の乳児死亡率

若年期のストレスなどによる生活習慣病のリスク因子を減らすことで高齢期の生活習慣病発症や目立喪失を防ぐことができるか？

家庭で栄養バランスを考えられるよう、定期的にバランスのとれた食事や料理のポイントを紹介するチラシを各家庭に配布すれば、肥満を解消できるのではないか。

ジェネリック医薬品があまり供給されていないのはなぜか？

もし野良猫に去勢手術を行うことができれば感染症をもらったり、排出物により地域が汚染されることを今よりは軽減できるだろう

テーマパーク型の農業体験を実施すれば農業に興味を持つ子が増えて若者の農業従事者が増えるのではないか

減塩レシピ本を配れば減塩を推進できるのではないか

地方の生活利便性（食）の低下

①かかりつけ薬局かどのくらい普及しているか②地方だからこそできる地域に寄り添った薬局として機能しているか

強雨育を受ける生徒が感じる情報格差や経験格差

自分は健康だと思っている人や、面倒だと思っている人が多いため、健康診断の受診率や再検率が低かったりする

予防をすることで看護師の不足が改善するのではないか？

青森県民の健康に対する意識について

短命県No. 1→子供の運動習慣を身につけさせるには？

風邪薬不足について

もし、楽しくつづせるところがあれば、賑わいが取り戻せるだろう

もし第三次産業がもっと賑わえば、青森の収入は10%アップするだろう。

朝食の欠食が無くなれば不登校になりにくくなるのではないか

こどもの国を県外から来たいと思えるくらいの施設に変えようと

スマートシティ、ホームが実現出来れば、エネルギー節約につながるのではないか

就職先や施設ごとのPTの偏りを解消できれば理学療法士の需要過多に対応できるのに
例えば他地域での実行例も多い、12~2月の間、一人暮らしの方や高齢者、障害者の方々に、除雪の際にはボランティアを呼びかけてもらうようにしてもらえば、雪上での事故は減ると思う。
漁獲量を一時的に減らしたら、漁獲量は戻ってくるだろう
一度八戸に来た人が、もう一度来たい、他の人に勧めたい、と思ってもらえるような環境作りをする。
学生や社会人などの幅広い世代に対して魅力がある場所にする
今犬や猫を飼っているひとに最後まで飼つよつにさせられるような取り組みやをすれば保護犬の殺処分も減り殺処分分の数も減るのではないかな
①もし多くの潜在看護師の人が復職し、看護師が増えれば2025年問題が起こって看護需要が拡大しても大丈夫だろう②もし残業が減れば業務過多による看護師の負担が減るだろう
睡眠時間を増やせば不登校になりにくくなるのではないかな
白神山地の入山規制をすればマナー違反によって環境が破壊されないのになあ
山や川に捨てられたゴミをどのようにして処理するのかインタビューなどする
もし、防犯目的のカメラを川沿いに設置できれば、川に直接捨てられるゴミが減り、川が綺麗になるなる
市で猫の去勢手術を行えば繁殖を抑えられるのに
もし新しく、斬新な商業施設や観光スポットができれば、前年の10%増えるだろう
もし、教員の負担が減れば、教員が休んだり辞めたりすることが減るだろう。
どうしたら青森県の産婦人科医の人材不足を解消できるのか
児童への食育指導につながるイベントを行えば児童の食生活は改善されるのではないかな
小林市で働く教師の魅力を多岐にわたるサービスに広げて、多岐にわたる教師の魅力を多岐にわたる教師と口にする小中高生が増えるのではないかな。
もし学生の運動不足を解消できれば（運動部入部率が高くなれば）、青森県の肥満児出現率は減るのか。
もし青森県の外国人農業者が増えれば、青森県の農業の後継者不足が解消されるのではないかな。
断熱材の種類を変えたら、もっと家の中が暖かく過ごしやすくなるのではないかな
自分の現状を知る機会を増やせば学習意欲が保てるのではないかな
青森県の医療従事者不足の改善のために学生などへの支援などを手厚くするなどの取り組み
がんの早期発見が増えれば治療に使われる税金を減らせる
加齢による認知症の高齢者の数に比べて、認知症の予防やケアの取り組みを増やせば認知症の数は減るのではないかな
もし救急車の台数も増え、赤ちゃんや学生の救急立か上かると、今後の高齢化、少子化にもたくさんひひくだろう
病院独特の緊張感がなくなれば注射嫌いを克服できるだろう
地域住民を悩ませる家畜排泄物の匂いの臭気を軽減する、排泄物の量を減らす
老老介護を行う高齢者と家族がアプリで簡単に連携をとれたら、在宅医療の選択を則向きに考える人が増えるのではないかな。
どうすれば動物の殺処分が減るのか
「八戸」の魅力を残していくには何が必要かな
農家の減少を防ぐためには
買い物難民を減らすためにはどうすれば良いかな
なぜ八戸市は人口減少が止まらないのか
どうすれば南部弁を残していけるのか
地産地消で県産食材を使った、アスリート飯
自転車のルール
結果は変わらない

なぜ交通利便性が良くないと起こる問題は何か
なぜ、八戸市の犯罪件数は減少傾向にあるのか。また、さらに減少させるにはどうしたらよいのか
カップラーメンの生産量も消費量と同じようにあげていく
青森県の人口の変化と経済の推移
交通網の衰退と高校の生徒数減少の関係
なぜ伝統文化の後継者が不足していくのか
県の活性化のために観光産業でできること
公共施設に行く理由が無い人はどうしたら良いか？
青森県の食習慣の改善
青森県の子育て支援の対応について
青森県内の都市間を行き来しやすくするためには
青森県の観光需要について
SDGsの取り組み率の低さ
高校生の読書&活字離れ
八戸の留学生を増やすには
短命県を返上するには
なぜ青森県の平均寿命は短いのか
<small>小学生は子役、中学生は秘日、高校生は秘探の時間を利用して各地区のことについて知ってもらい、興味を持ったテーマについてグループごとに地域の人にインタビューなどを行い繋がりを作り郷土を好きになってもらうことで青森県の人口流出を防止</small>
八戸線の電車の本数が少なくて不便
料理の味付けが全体的に濃い。
市内に住む外国人が言葉の面で苦勞が多いこと。
ふるさと納税
世間のイメージがあまり良くないため志望する人が少ない
どうしたら八戸駅前を活性化できるか。
どうしたら児童福祉がより充実するか なぜ児童虐待が増加傾向にあるのか
青森県の人口減少
なぜ若者は地元を離れる割合が高くなってしまおうのか
がんの罹患率
八戸中心街の衰退
実用性のある英語を学ぶためにできること
小学生の読書量は増えたが、中学生の読書量はあまり変化がないと思う
青森の起業支援を活性化したら、観光資源とネットチラシを利用して、地域活性化につながるのではないかと
農業を企業化したら、野菜の価格が安くなり、地元飲食店が衰退しないのではないかと
県内・沿線の魅力を発信し観光客を呼ぶことができれば、ローカル線を維持できるのではないかと
SNSで南部町の子育て支援を宣伝したら人口が増えるのではないかと
<small>地元の在宅介護者に対して、AIやインターネットを活用できれば介護する人達の負担が軽減されるのではないかと。(変更あり)</small>
自動運転技術を用いた除雪システムの導入をすれば、交通の円滑な運行が可能になるのではないかと

外遊びの魅力や楽しさを体験活動やSNSで伝えたら、青森県の小学生の運動能力は改善されるのではないかと学校や家庭、または地域などでもっと積極的に情報セフルに関する教育をすれば、年々増加しているネットトラブルを防ぐことができるのではないかと

町内会で定期的に環境美化活動を行えばより良い治安維持に繋がるのではないかと

青森県の義務教育のデジタル化、電子機器の活用が進めば小中学生の学力が上がるのではないかと

高齢者の自立化を促すモノがあれば、保護者となる人や高齢者自身も楽になるだろう。

もしSNSで英語で観光地を紹介したら、外国人観光客は増えるのか。

学校全体で色々なスポーツの体験に参加できる機会を増やして外遊びに親しみをもつ子供が多くなれば、子供のゲーム時間を減らせるのではないかと

ウィンタースポーツが青森県に定着すれば冬の観光客が増えるのではないかと

健康的な生活をすれば短命じゃなくなる

もし八戸市が昔のような街並みを取り戻せば街に来る人が増加するのではないかと。

もし青森県のサービス業で訪問サービスを行う店が増えたら来店が困難な人も利用しやすくなるだろう

八戸市美術館の休館日や週末の特定の時間帯を子供連れ専用にしたり高齢者専用にするれば、子供連れや高齢者などの利用者数が増えるのではないかと

もし青森県の教育の場の体制がもっと整えば、青森県で働きたいという教員志望者は増えるのではないかと。

青森県の気候による肌悩みを食生活と比較して改善すれば青森県の美容偏差値を1位にできるのではないかと

もし多くの人が運動習慣を身につけたら、青森県民の健康寿命を伸ばすことができるのか。

SNSの使い方や表現方法を工夫すれば青森県の魅力が他県に伝わるのではないかと

SNSに力を入れて八戸市に行きたくなるようなPRをしたら観光客は増えるのではないかと

個に心じた教育を行う環境を整えれば子供の人口減少の社会の中で将来社会を維持出来ることにつながるのではないかと

高校生が郷土芸能に参加すれば継承されるのではないかと

部活動や地域におけるクラブ活動を増やせば、現代における子どもの健康課題は解消されるのではないかと

もし娯楽施設が街にできたらもっと中心街が盛り上がり町おこしにつながるだろう

若い世代向けの参加型イベントを行ったら中心街衰退しないのではないかと

小学校の低学年でも昼休みにできるような間易的で安全な野球のようなスポーツがあれば、野球人口は増えるのではないかと

幼稚園、保育所で虐待を早期に発見することができたら子供達の精神的、身体的不安を取り除くことができより良い生活を生活を営めるのではないかと。

どうしたら学校の数学の教育基準を上げることができるのか

日銀の歩道や車道を広くするなどの整備をすれば、日銀は歩行者や運転手にとって安全なところになるのではないかと

街に行く需要が高まり、人々が集まれば中心街は活性化するのはのではないかと

強みを世界に発信すれば地域が活性化するのはのではないかと

八戸駐屯地から自衛隊の魅力を知って貰えば自衛官を目指す人が増えるのではないかと

広告やPRの仕方を工夫すれば、さらに人の人の目につく機会が増えるのではないかと？

階上町の若い人々を増やす

具体的に何を規制するのか。

海外に向けた広告を作るなど、PRの仕方を試してみれば、もっと八戸が人の目につくようになるのではないかと？

青森のエネルギーの使用量を減らすためには

人が乗らなければ、除雪にかかるコストを軽減できるのではないかと

よりインターネットを活用させれば教育の質が上がるのではないかと

青森の人々にもっとスポーツの興味を持って貰えばスポーツで青森の経済を豊かにできるのでは？

青森県の化粧品購入量を向上させよう！ ～メンズが救う！目指せブービー脱出！～

職場や学校で運動タイムを取り入れることで運動不足を解消させる

職場や会社で運動タイムを設けることで運動習慣がつくのか

八戸市に若い観光客が来ないから中心街の活性化

薬剤師不足の問題

家庭内での子どもの教育を徹底し、学校などの教育機関でも非行について指導する時間を増やす

高校の定期演奏会をもっと大々的に広めれば八戸の音楽人口を増やせるのでは？

交通の利便性が上がれば八戸で起業する人が増え、店が多くなり地域が活性化するのではないか。

環境問題に積極的に取り組んでいる企業・団体の認知度が上がれば青森県のこみの排出量が減り、リサイクル率は上がるのではないか？

文学を使って世界と日本の考え方の違いなどを読み解きその違いを活かして活性化

実際に行われている事業の告知をもっと広まるようにすれば、参加する人数が増えて介護される高齢者の割合が減るのではないか。

保護動物について

SNSは広めるのにとても適当に伝わる人に限りが出さず一部の人に重複して伝わっているだけだから。

①学校では生徒を守るために制限されている情報があるから。①手元に届いても受け取り手の興味が引けていない何か問題があるから。②発信手は届いていない現状を知り受取手は発信していることを知る。②新聞の一面を利用するだけでは期待はできない。今後はSNSから知るようになるか？

美容の街八戸というイメージを広めれば、青森はより栄えるのではないか。

発表の場を増やせば伝統芸能はもっと盛んになるのではないか

時間管理を徹底し、個人の意識の改善で教員の残業時間は減るのだろうか

若者が活躍できる場を増やせば、県外流出はおさえられるのではないか

全ての親子に子育て支援を身近に感じてもらって取り組みをすれば地域子育て支援サービスの利用者が増えるのではないか

多様で柔軟な働き方を取り入れれば、働きやすくなるのではないか

金融リテラシーが向上すると

小さい頃から読書をする習慣があれば、青森県の読書量は増えるのではないか

一人当たりの教員の負担を減らせば、教職員の数は増えるのではないか

自分の強みを知れば学生の自己肯定感はあがるのか